

一部にしびれ症状も

水俣市の住民検診結果

水俣市茂道地区で市、水俣保健所、水俣市・羽北郡医師会が共同で行なった住民検診結果がまとまり、このほど市に報告されているが、その中で一部手足のしびれのある人などがはいっている。

この検診は「二日診療所」としてさる四月二十五日に行なわれた。地域住民の健康状態を知るためのもので、水俣病発見そのものが目的ではなかった。茂道は湯堂、月沖、出月などとともに水俣病多発地帯の一つ。診察は内科、外科、眼科、産婦人科、精神科などで医師会が当たった。百十八世帯四百五十九人のうち児童、生徒、事業所勤務者など目こら検診を受ける人を除いた百五十三人が受診し、百三十六人のカルテを回収している。

全般的な傾向としては、山間地の石飛地区などに比べ、低血圧症が目立った。四肢（し）のしび

れ、ふるえて三十歳代と四十歳代の男各一人、運動マヒで四十歳代男と三十歳代、五十歳代女の各一人、また腰痛、神経痛、関節症で男三十歳代から六十歳代七人、女三十歳代から八十歳代までの八人

がそれぞれの症状を訴えている。